

物品売買契約書

- | | | |
|---|---------|---|
| 1 | 物 品 名 | 令和8年度 消防隊・救助隊防火衣一式及び防火長靴 購入 |
| 2 | 仕様(規格) | 別添仕様書のとおり |
| 3 | 数 量 | 別添仕様書のとおり |
| 4 | 契 約 金 額 | ¥ <u> </u>
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ <u> </u>) |
| 5 | 引 渡 期 限 | 令和9年3月12日(金) |
| 6 | 引 渡 場 所 | 発注者の指定する場所 |
| 7 | 契約保証金 | 免除(焼津市契約規則第26条第2項第 号 該当) |
| 8 | 支 払 方 法 | 納品後一括払い(銀行口座振込) |
| 9 | 支 払 時 期 | 請求書受理後30日以内 |

上記物品売買の実施について、発注者と受注者とはおのこの対等な立場における合意に基づいて、上記事項及び物品売買契約条項を厳守し契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

この契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

年 月 日

発注者 志太広域事務組合
管理者 焼津市長 中野 弘道 (印)

受注者 住所 商号 氏名

志太広域事務組合物品売買契約条項

(総則)

第1条 発注者及び受注者は、売買契約書記載の物品（以下「契約物品」という。）の売買契約に関し、売買契約書に定めるもののほか、この条項に基づき、売買契約を履行しなければならない。

2 受注者は、この契約の履行に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

3 受注者は、この契約の履行にあたり個人情報を取扱うときは、個人の権利利益を侵害することのないよう努めなければならない。

(確約事項)

第2条 発注者に対し、受注者は、暴力団関係企業等（暴力団又は暴力団員等若しくは暴力団員等と密接な関係を有する者をいう。以下同じ。）でないことを確約する。

(所有権移転)

第3条 物品の所有権は、物品の引渡があった時に、受注者から発注者に移転する。

(検査及び引渡)

第4条 受注者は、発注者の指示に従って約定期限に約定場所に物品を納品するものとし、発注者は物品受領後5日以内に物品の検査をするものとする。

2 物品の引渡は、発注者の検査終了と同時に完了するものとする。

3 第1項の検査によって生じた故障又は検査に要した経費は受注者の負担とする。

4 第1項の検査により合格と認めた時には、発注者は受注者に通知するものとする。

(物品の引取)

第5条 受注者は、不合格又は契約数量を超過した物品及び契約を解除された物品その他発注者から返却し得べき物品を、自己の経費をもって発注者の通知が到達した日から5日以内に引取らなければならない。

(契約不適合責任)

第6条 発注者は、受注者から引渡された目的物が種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないものであるときは、受注者に対し、目的物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができる。

2 前項の目的物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、発注者は、その不適合を知った時から1年以内にその旨を受注者に通知しなければならない。ただし、契約をもってその期間を伸縮することができる。

(請求及び支払の期限)

第7条 受注者は、第4条第4項の通知を受けた後に支払を請求するものとする。

2 発注者は、受注者から正当な請求書を受領したときから30日以内に契約金を支払わなければならない。

(債権の譲渡)

第8条 受注者は、発注者の書面による承諾を得ない限り、発注者に対する債権を第三者に譲渡又は承継させることができない。

(引渡延滞違約金)

第9条 受注者の責めに帰すべき理由により引渡期限までに物品の引渡が完了しないときは、受注者は契約金額から（当該債務の履行分に相当する金額を控除した額につき、）引渡期限の翌日から引き渡し完了した日までの延滞日数に応じ、当該債務の履行に係る契約の締結日における政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法律第256号）第8条第1項の規定に基づき財務大臣が決定する率を乗じて計算した額の延滞違約金を支払うものとする。

2 延滞違約金が100円未満であるときは、これを徴収しないものとし、100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。

(契約の解除)

第10条 発注者、受注者いずれか一方がこの契約に違反したときは、その相手方はいつでもこの契約の全部又は一部を解除することができる。

2 発注者は、受注者が暴力団関係企業等であることが認められた場合、何らの催告を要せずに本契約を解除することができる。

3 発注者が、前項の規定により、当該契約を解除した場合には、発注者はこれによる受注者の損害を賠償する責を負わず、また、解除により発注者に障害が生じたときは、受注者はその損害を賠償する。

(不当介入を受けた場合の措置)

第11条 受注者は、暴力団関係企業等による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに発注者への報告及び警察への通報を行い、捜査上必要な協力をするものとする。

(合意管轄)

第12条 この契約に関する訴訟については、静岡地方裁判所を管轄裁判所とすることに合意する。

(定めのない事項の処理)

第13条 この契約に定めのない事項については、法令の定めるところによるほか、発注者、受注者双方協議の上処理するものとする。

令和 8 年度 消防隊・救助隊防火衣一式及び防火長靴 購入 仕様書

この仕様書は、志太広域事務組合志太消防本部が令和 8 年度に購入する消防隊・救助隊防火衣一式及び防火長靴購入について必要な事項を定める。受注者はこの仕様書に基づき適正且つ誠実に納入すること。

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 品 名 | (1) 消防隊防火衣一式（防火服上下・防火帽・しころ）
(2) 救助隊防火衣一式（防火服上下・防火帽・しころ）
(3) 防火長靴 |
| 2 | 規 格 | 以下に定める内容のとおり
(1) 消防隊防火衣一式仕様明細書
(2) 救助隊防火衣一式仕様明細書
(3) 防火長靴仕様明細書 |
| 3 | 数 量 | (1) 消防隊防火衣一式（防火衣上下・防火帽・しころ） 37 着
(2) 救助隊防火衣一式（防火衣上下・防火帽・しころ） 5 着
(3) 防火長靴 40 足 |
| 4 | サ イ ズ | 各個人採寸し、個人仕立てのものとする。 |
| 5 | 納入期限 | 令和 9 年 3 月 12 日（金）
ただし、可能な限り、早期納入に努めること。 |
| 6 | 納入場所 | 志太広域事務組合 志太消防本部 藤枝消防署
(藤枝市稲川 200 番地の 1) |
| 7 | そ の 他 | (1) 検収後であっても製品に欠陥が認められた場合は受注者の責任とし、無償で修理または交換すること。
(2) 各仕様明細書に記載する以外の同等以上品で入札する場合は、その仕様を確認するため、入札通知書に記載する設計図書に係る質問期限までに、物品に係る仕様について下記担当へ提出し、承認されたうえで入札すること。 |

担当：志太広域事務組合 志太消防本部
藤枝消防署 特殊消防救急隊 吉田純平
住所：静岡県藤枝市稲川 200 番地の 1
電話：054-641-1878 FAX：054-644-1412

(1) 消防隊防火衣一式
仕様明細書
個人防火装備

(防火服上下・防火帽・しころ)

志太広域事務組合 志太消防本部

第1 総則

1 目的

この仕様明細書（以下、仕様書という）は、志太広域事務組合志太消防本部が購入する消防隊員用個人防火装備（防火服上下・防火帽・しころ）について必要な事項を定めることを目的とする。

2 概要

この防火服は、火災発生建物への屋内進入を実施する消防隊員がより安全に消火活動等を行うために求められる機能を有するとともに、快適性、運動性等隊員の活動を容易にするための機能を有するものであること。また、防水性能及びヒートストレス対策等快適性能を有し、軽量化されたものであること。

防火帽（しころ含む）は、火災発生建物への屋内進入を実施する消防隊員がより安全に消火活動等を行うために求められる機能を有するとともに、快適性、運動性等隊員の活動を容易にするための機能を有するものであること。

3 防火服の性能

「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン(改定版)について（通知）」（令和4年4月15日付消防消第113号）（以下、「新ガイドライン」という）に準拠するものとする。

4 防火帽の性能

労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定に基づく保護帽の規格（平成3年厚生労働省告示第39号）に適合するものとし、「新ガイドライン」に準拠するもので、EN443：2008欧州消防隊員用防火帽性能基準及びEN14458：2004欧州消防隊員用フェイスガード性能基準に適合しCEマーキングを取得し、仕様書に定める性能を満たすものであること。

5 しころの性能

「新ガイドライン」に準拠するものであること。

6 防火服の条件

使用する材料、付属品は全般にわたって十分に検査が施され、仕様書の全てを満足し仕上がりが優良な製品であること。また、防火服は国内の工場にて縫製したものとし、破れ等が懸念される指定箇所に補強材料が取り付けられていること。表地の素材は、メタ型アラミド及びパラ型アラミドの織物とし、紫外線等による劣化を防ぐために、パラ型アラミドが表に出てこない二重織り構造とすること。

7 防火帽の条件

使用する材料、付属品は全般にわたって十分に検査が施され、仕様書の全てを満足し、仕上がりが優良な製品であること。

8 しころの条件

使用する材料、付属品は全般にわたって十分に検査が施され、仕様書の全てを満足し仕上がりが優良な製品であること。しころの材料及び性能は、当本部の仕様で定める防火服とのコンパティビリティを考慮した設計であること。インターフェースは防火帽との接合する隙間がなく、シールド面を下げた状態で顔面を隙間なく密閉できる構造であること。

9 防火服、防火帽品質保証

表生地、透湿防水層、遮熱層兼裏地の生地材料及び反射テープ、ファスナー、釦、縫製糸等の付属品について、納入日より 1 年間における品質に著しい不良が認められた場合、受注者負担で修繕をすること。ただし、使用方法、使用環境、保管方法、洗濯方法等に対し適切でない状況下での破損等についてはこの範囲に含まない。

第2 防火服 仕様

船山株式会社製 タフアタック防火服

1 外衣生地材料（表生地）

- ・ 織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないこと。

<生地規格 本体色>

素材混紡率	メタ系アラミド繊維 70%	JIS L 1030
	パラ系アラミド繊維 29%	
	導電性繊維 1%	
組織	変化織	JIS L 1096
染色、色相	原液着色 ダークネイビー	
質量	245g/㎡±5g	JIS L 1096
加工	撥水加工	
密度	たて121 よこ85 本/2.54cm	JIS L 1096
見掛番手・織度	たて 表 42/2	JIS L 1096
	たて 裏 29/2 + 47/2	
	よこ 表 43/2	
	よこ 裏 42/2	
引張強さ	たて 2500N以上	ISO 13934-1
	よこ 2000N以上	
引裂強さ	たて 400N以上	ISO 13937-2
	よこ 400N以上	
撥水度	初期 5級以上	ISO 4920
摩擦帯電電荷量	3μC/㎡以下	JIS L 1094

2 內衣生地材料（透湿防水生地）

- ・ 織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないこと。

<生地規格>

素材混紡率	メタ系アラミド繊維 50%	JIS L 1030
	難燃レーヨン 50%	
	PTFE メンブレン ラミネート加工	
組織	平織	JIS L 1096
色相	紺	
質量	148g/㎡±5g	JIS L 1096
密度	たて75 よこ54 本/2.54cm	JIS L 1096
見掛番手・織度	たて 45/1	JIS L 1096
	よこ 45/1	
透湿度	1000g/㎡/h以上	JIS L 1099 B-2法
耐水性	耐水度294kpa以上	JIS L 1092:2009 B法
人工血液バリア性	クラス 6	JIS T 8060-2007 D 法
ウイルスバリア性	クラス 6	JIS T 8061-2010 D 1法

3 內衣生地材料（遮熱層兼裏地）

- ・ 織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないこと。

<生地規格>

素材混紡率	メタ系アラミド繊維 70%	JIS L 1030
	パラ系アラミド繊維 29%	
	導電性繊維 1%	
組織	凹凸状ハニカム織	JIS L 1096
染色、色相	原液着色 濃紺	
質量	151g/㎡±5g	JIS L 1096
密度	たて75 よこ54 本/2.54cm	JIS L 1096
見掛番手・織度	たて 40/2	JIS L 1096
	よこ 40/2	
引張強さ	たて 900N以上	ISO 5081-1977
	よこ 700N以上	
引裂強さ	たて 90N以上	ISO 4674-1977 A2法
	よこ 100N以上	
ピリング	4級以上	JIS L 1076 A 法

4 その他の材料

反射テープ	反射素子露出型のST-05N、ユニチカスパークライト(株)社製 基布はポリアミドイミド繊維, 75mm巾を使用
面ファスナー	難燃性クイックロン F Aタイプを使用。25mm、38mm、50mm Y K K社製 F A A-25-853 (b) 米国航空管理規定準拠品
袖口ニット	ポリアミドイミド繊維 100%ニットリブ (ゴム入り)
袖口袋	アラミドアルミコーティング生地、アキレス社製
ファスナー	ロック機能付きエバーブライトスライダー、Y K K社製
ドット釦	7050 真鍮材、モリト社製
縫い糸	メタ系アラミド 100%40 番糸を使用
膝パッド	ケブラーフェルト DUFELT×2

5 構造

(1) 上衣

ア 襟

- (ア) 表生地2枚重ねに透湿防水生地1枚を入れ、襟高は後中央95mmとする。
- (イ) 襟が立ち上がるよう芯地を縫い合わせる。
- (ウ) 呼吸器面体と襟の干渉を避けられ、衣服内に溜まった熱気が首から排出しやすいように広く設計された首周りの寸法であること。
- (エ) 前面保護のためチンストラップを縫い付け、開閉は長さ調整が出来る面ファスナーとする。
- (オ) 襟付け部分内側に、襟吊りを縫い付ける。

イ 前身頃

- (ア) 上前に前立を縫い付け、面ファスナーとフロントファスナーを併用した開閉とする。
- (イ) 上前(両方)にマイクフックを補強材で縫い付ける。
- (ウ) 上前にアンテナフックを補強材で縫い付け、指定箇所にドット釦を取り付ける。
- (エ) 別図のとおり反射テープをWステッチで縫い付ける。
- (オ) 肩当ての中に透湿防水素材フェルト1枚を入れ、外側に補強材(EPRA)を縫い付ける。
- (カ) ファスナースライダーにタブを縫い付ける。

ウ ポケット

(ア) 左胸ポケット

- a デジタル無線専用の寸法で製作する。
- b フラップは1:1の2分割で、開閉用面ファスナーを縫い付ける。
- c マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、両側面のマチ上下2箇所に面ファスナーを縫い付けた3方マチとする。
- d 袋内部にループを縫いつける。
- e ポケット下部に水抜き穴を取り付ける。
- f 指定の反射テープ(ST-05N)を縫い付ける。

(イ) 右胸ポケット

- a デジタル無線専用の寸法で製作する。
- b フラップは1 : 1の2分割で、開閉用面ファスナーを縫い付ける。
- c マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、両側面のマチ上下2箇所面に面ファスナーを縫い付けた3方マチとする。
- d 袋内部にループおよびペン差し袋を縫いつける。
- e ポケット下部に水抜き穴を取り付ける。
- f 指定の反射テープ（ST-05N）を縫い付ける。

(ウ) 左腰ポケット

- a 袋内側ヘルプ、小型ポケットおよびナスカンを縫い付ける。
- b マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、側面のマチ上下2箇所面に面ファスナーを縫い付けた2方マチとする。
- c フラップは面ファスナー開閉式とし、フラップ先端に補強材によるタブを縫い付ける。
- d ポケット下部に水抜き穴を取り付ける。
- e フラップの外側に資機材携行用ループおよびD環を補強材で縫い付ける。

(エ) 右腰ポケット

- a 袋内側ヘルプを縫い付ける。
- b マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、側面のマチ上下2箇所面に面ファスナーを縫い付けた2方マチとする。
- c フラップは面ファスナー開閉式とし、フラップ先端に補強材によるタブを縫い付ける。
- d ポケット下部に水抜き穴を取り付ける。

エ 袖

- (ア) 8枚接ぎで腕の形状に沿った超立体構造とし、袖先は手背側が長く、掌側が短い構造とする。
- (イ) 手首のリブは適度な締め付けとし防火手袋を着装する際、防火手袋の裾を収納しやすい寸法とする。
- (ウ) 中衣と接続するためのドット釦付ベルトを縫い付け、さらに面ファスナーで固定できる構造とする。
- (エ) 袖口裏に補強材（EPRA）を縫い付ける。
- (オ) 別図のとおり、反射テープをWステッチで縫い付ける。

オ 後身頃

- (ア) 別図のとおり、反射テープをWステッチで縫い付ける。
- (イ) 裾は前屈みによる捲れを防ぐ形状とする。

カ 脇身頃

右脇身頃へ補助ポケット携行用ループを補強材で縫い付け、表生地裏側へ補強材を縫い合わせる。

キ ネーム加工

別図のとおり熱圧着シートをホットプレスで取り付ける。

ク その他

- (ア) 見返しに中衣接続用のファスナーを縫い付ける。
- (イ) 袖先に中衣接続用のドット釦付ベルトを縫い付ける。
- (ウ) 後身頃に中衣接続用の面ファスナーを縫い付ける。

(2) 下衣

ア 身頃

- (ア) 膝の屈折および活動性を重視した超立体裁断であり、前身頃の膝部分により多くの空気層が形成される構造とする。
- (イ) 膝頭に屈曲性を向上させるためにプリーツを入れること。
- (ウ) 膝は補強材と緩衝材（2枚）をかぎ型に裁断し縫い付ける。
- (エ) 前身頃にカラビナフックを補強材で縫いつけ、表生地裏側へ補強材を縫い合わせる。

イ ポケット

- (ア) 左右側面にフラップ付き2方マチポケットを縫い付ける。
- (イ) フラップは傾斜角10°の角度取り付け、面ファスナー開閉式とし、フラップ先端に補強材によるタブを縫い付ける。
- (ウ) ポケット取り付け位置は、真横中心より前方向へ20mmの位置とする。

ウ 腰帯

- (ア) 上前に前立を縫い付け、面ファスナーとフロントファスナーを併用した開閉とし、上隅にドット釦を取り付ける。
- (イ) アジャストベルトおよびアジャスターバックルを取り付ける。
- (ウ) アジャストベルト先端の余長を腰帯に固定できる面ファスナーを縫い付ける。
- (エ) 有効幅100mmの安全帯ベルトループを5箇所取り付け。
- (オ) 前身頃および両脇のベルトループ内側へ安全帯ズレ防止用面ファスナーを縫い付ける。
- (カ) アジャストベルト用ループを5箇所縫い付ける。
- (キ) 前身頃2箇所および後身頃2箇所へサスペンダー取り付け用ベルトを縫い付け、ドット釦と面ファスナーでサスペンダーを固定する。

エ 裾部

- (ア) 別図のとおり反射テープをWステッチで縫い付ける。
- (イ) 側面にファスナーを縫い付ける。
- (ウ) 裾にW150mmの面ファスナー開閉式タブを縫い付ける。
- (エ) 裾口に補強材を縫い付ける。

オ その他

- (ア) 見返しに中衣接続用のファスナーを縫い付ける。
- (イ) 裾先に中衣接続用のドット釦付ベルトを縫い付ける。
- (ウ) 裾先に中衣接続用の面ファスナーを縫い付ける。

(3) 上下の中衣

- ア 本体見返しにファスナーで接続できる構造とする。

- イ 袖口に防水布を縫い付け、先端にニットリブを縫い付ける。
- ウ 本体と接続するための上衣裾口および下衣裾口に本体接続用のドット釦付ベルトを縫い付け、さらに袖口は、面ファスナーで固定できる構造とし、面ファスナー及び位置合わせのための赤いテープを縫い付ける。
- エ 透湿防水層と遮熱層兼裏地を重ねて縫い合わせ、外周にアラミド製パイピングを縫い合わせる。
- オ 透湿防水フィルム側の縫い目にシームテープ加工をする。
- カ 上衣左右の脇下および背面中心に保冷剤入れポケットを縫い付け、面ファスナーでポケット間口を閉じる構造とする。

(4) サスペンダー

- ア 耐久性のある平ゴム製を用いた伸縮性のあるベルトに、アジャスターバックルと本体接続用〇環を縫い付ける。
- イ 表生地にクッションを封入した肩パッドをベルトに縫い付ける。

(5) しころ

- ア 材料は本仕様書で定める防火服材料と共通とする。
- イ 指定する防火帽の形状に合わせ面ファスナーを取り付ける。
- ウ シールドの形状に合わせ、顔面を保護できる前合わせ式とする。

(6) 氏名、所属等の表示、取り扱い注意表示を指定位置に取り付ける。

(7) 上衣・下衣寸法

	S	M	L	LL	3L	4L	5L		
適合身長	155	165	170	175	180	185	190		
着丈 前/後	62/70	68/76	70/78	72/80	74/82	77/85	80/88		
胸囲	118	128	132	136	140	146	152		
中胴	104	110	114	118	122	128	134		
裾囲	106	112	116	120	124	130	136		
肩幅	50	54	55	56	57	59	61		
袖丈 外/内	53/50	55/52	57/54	59/56	61/58	63/60	65/62		
衿丈(外)	78	82	84.5	87	89.5	92.5	95.5		
単位:cm 寸法許容差:±5% 袖丈特寸サイズ±4cm刻み調整									

			O	XO	XXO				
適合身長			170	175	180				
着丈 前/後			70/78	72/80	74/82				
胸囲			132	138	144				
中胴			124	130	136				
裾囲			126	132	138				
肩幅			55	57	59				
袖丈 外/内			57/54	59/56	61/58				
衿丈(外)			84.5	87.5	90.5				
単位:cm 寸法許容差:±5% 袖丈特寸サイズ±4cm刻み調整									

	S	M	L	LL	3L	4L	5L
腰囲(最大)	86	92	98	104	110	118	126
股下(長さ)	68	71	74	77	80	80	80
股上(前)	33	34	35	36	37	38	39
渡り幅	38	39.5	41	42.5	44	46	48
裾幅	24.5	25.5	26	26.5	27	28	29
単位:cm 寸法許容差:±5% 股下丈特寸サイズ±4cm刻み調整							

6 絵型

上衣正面、背面、下衣正面、背面、サスペンダー、しころ ※別図参照

7 縫製

- (1) 各部の縫い合わせは、縫い目の目とび、外れ等がないものであること。
- (2) 縫い代は、各部分に適した充分なものであり、オーバーロックが施してあること。
- (3) 強度を必要とする個所に、門止めミシンを入れること。
- (4) 地縫い、飾り縫いの始めと終わりには、必ず返し縫いを入れること。
- (5) 地縫い、飾り縫いの縫い目ピッチは、11 針(3 cm)を標準とすること。

8 付属

保冷剤KEEP COOL-4Hを1着につき3個を付属する。

9 許容差

寸法の許容範囲は±5%以内とする。

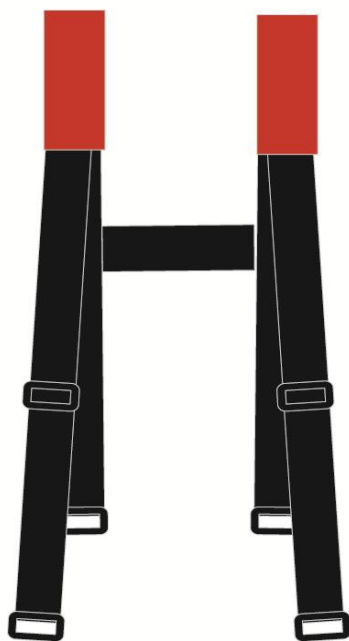
別図 上衣



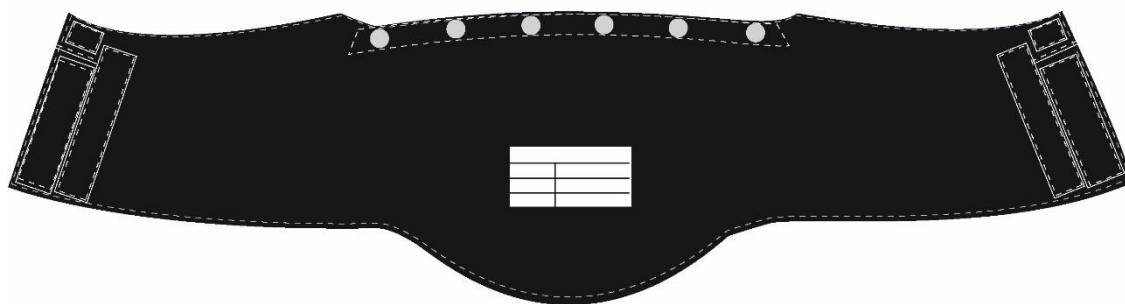
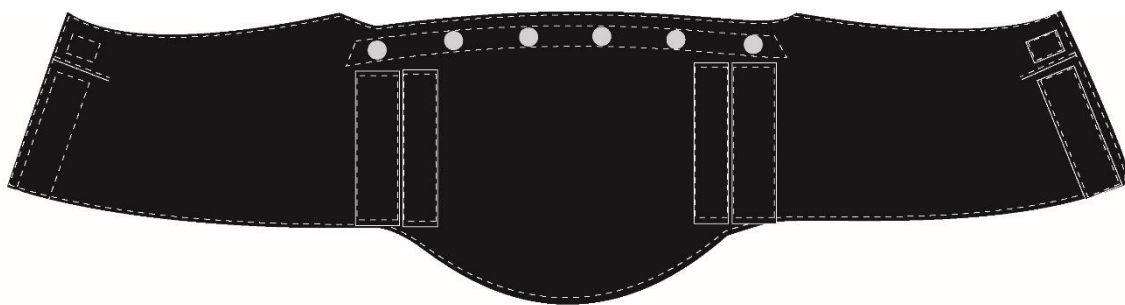
別図 下衣



別図 サスペンダー



別図 しころ



第3 防火帽 仕様

船山株式会社製 FKT-1402EN 防火帽

1 構造

(1) 概要

この防火帽は、帽体表面に指定の帽章を強固に貼付し、左右側面にネーム加工（ロゴ及び消防本部名）を施し、内側に難燃衝撃吸収ライナー、ヘッドバンド等の装着体及び大型立体成型シールドを内蔵し、帽体下隅の外周部にしころを取り付けることができ、左右にヘッドライトバンドを固定するパーツを取り付けること。また、ヘッドバンドは防火手袋装着時に締め・緩めの操作が容易にできるダイヤルラチェット方式とし、サイズ調整および被り深さが調整できる構造とする。

防火帽使用材料は別表のとおりとし、詳細は(2)形状等のとおりとする。

(2) 形状等

ア 帽体

(ア) 本体

- a 別図の形状とすること。
- b 表面は滑らかで堅牢であること。
- c ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂（難燃性樹脂：UL94（V-Oクラス））による、軽量強化プラスチック製であること。
- d 外面は焼付塗装を施し、表面を耐候クリア塗装仕上げとすること。
- e 本体色はシルバーとする。

(イ) 周章

別図のとおり、帽体の左右側面に反射材の周章を貼付すること。

(ウ) 帽章

別図のとおり、帽体前面中央に特殊樹脂製の帽章を貼付する。

(エ) ネーム加工

別図のとおりカッティングステッカーで貼付した後、クリア塗装を施すこと。
なお、ヘッドライトを装着した際に、消防本部名がベルトに隠れない位置に表示すること。

(オ) 掛け金具

帽体後部中央に、半月環状の掛金具を取り付けること。

(カ) ヘッドライトベルト固定用クリップ

帽体の左右側面に、ヘッドライトベルトを固定できるベルトクリップを取り付けること。

イ 装着体

(ア) 内装一体型カバー

ヘッドバンドカバーにハンモックを取り付けた一体型とし、ヘッドバンドを帽体から外さずに面ファスナーで容易に着脱できる構造とする。

(イ) ヘッドバンド

- a ダイヤルラチェット方式とし、頭回りに応じて52cm～64cmまでの範囲で装着時にも容易に調節が可能な構造とする。

- b ガイドシートに取り付ける留め具は、3段階の被り深さを調整できる構造とする。

(ウ) ガイドシート

- a しころ取付用のドット釦を6箇所取り付ける。
- b ヘッドバンドを取り付ける位置を、前頭2段階及び後頭3段階の被り深さで調整できる構造とする。

(エ) 頭頂部衝撃吸収パッド

頭頂部にクッション性に優れたパッドを接着し、取り付ける。

ウ あご紐一式

- (ア) 着左側にワンタッチバックルが装備され、容易に開閉できるものとする。
- (イ) 着右側にWリングが装備され、先端のテープを引っ張ることで締め付け操作ができるものとする。また、締め付けたあご紐は、リリースタブで容易に開放できる構造とする。
- (ウ) あご紐一式は、帽体にビスを用い固定する構造で、取り外しが可能であること。
- (エ) 着右側締め付け操作のあご紐はアジャスターリングにより、その箇所のみの取外しが可能な構造とする。
- (オ) 面体装着の際に、あご紐を開放した際の緩み長さを適切な寸法とする。
- (カ) ドット釦で取り外し可能な耳パッドを耳紐部分に取り付ける。また耳パッドを着装した際に、耳パッドがめくれ上がることを防ぐ固定用面ファスナーを取り付け、内装カバーに接続できること。

エ シールド

- (ア) 前面からの注水や飛散物に対し、顔面を保護できる構造で、視界の妨げとなるゆがみがない超鏡面仕上げの金型立体成形品とし、内外両面にハードコート処理及び防曇加工を施す。
- (イ) 帽体左右に接続するヒンジを支点に開閉できる構造で、固定するビスはロックナットを使用し、トルクドライバーによる締め付けにより、緩みが出にくい構造とする。
- (ウ) 下側端面は防火手袋装着時に、容易にシールド開閉操作ができるよう前方にせり出した形状とする。

オ ライナー

変性PPE成形品（難燃グレード：UL94（V-0クラス））を用いた衝撃吸収ライナーを帽体に接着させ取り付ける。

カ その他

- (ア) 寸法
L315mm、W253mm、H210mm
- (イ) 質量
1150g（許容誤差±5%）

別表

防火帽使用材料

区分	構成部品	数量	材料
帽体	F O 2 型	1	F R P
	リベット	2	アルミ
	D環	1	黄銅N i メッキ
ガイドシート	フロント	1	ポリカーボネート
	バック	1	ポリカーボネート
ライナー	衝撃吸収材	1	変性P P E 成形品
シールド	F O 2 型	1	ポリカーボネート
ヒンジ	サイドパーツ	2	ナイロン
あご紐	ベルト	1	アラミド繊維 1 0 0 %
	ワンタッチバックル	1	P O M
	耳パッド	2	アラミド繊維 1 0 0 %
	アジャスターリング	1	ナイロン
	丸環	2	S U S
ヘッドバンド	F O 2 型	1	ナイロン
ラチェット	F O 2 - C 型	1	ポリカーボネート
内装カバー	天井ネット	1	アラミド繊維 1 0 0 %
	ヘッドバンド周囲	1	アラミド繊維 1 0 0 %
	クッション材	3	ウレタン
天井クッション	衝撃吸収材	1	ウレタン

別図

SUPER SILVER



周章: 3M 680-82
ルビーレッド
(反射)

第4 補則

- 1 特注仕様(ポケット追加等)、特注サイズ、改良の為の変更、その他(階級、所属等の表示)については、あらかじめ協議を行い指示を受けた通りとすること。
- 2 納入時の梱包、包装等については、当本部と協議を行い、指示を受けた通りとすること。
- 3 原則として、仕様書に記載されていない事項については、見本品と同じとすること。
- 4 納入後であっても、生地、縫製に不具合箇所があった場合、受注者負担による修理又は交換をすること。
- 5 本仕様書の定めがない事項については協議を行い、指示を受けるものとすること。

(2) 救助隊防火衣一式
仕様明細書
個人防火装備

(防火服上下・防火帽・しころ)

志太広域事務組合 志太消防本部

第1 総則

1 目的

この仕様明細書（以下、仕様書という）は、志太広域事務組合志太消防本部（以下、当本部という）が購入する救助隊員用個人防火装備（防火服上下・防火帽・しころ）について必要な事項を定めることを目的とする。

2 概要

この防火服は、火災発生建物への屋内進入を実施する救助隊員がより安全に消火活動等を行うために求められる機能を有するとともに、快適性、運動性等隊員の活動を容易にするための機能を有するものであること。また、防水性能及びヒートストレス対策等快適性能を有し、軽量化されたものであること。

防火帽（しころ含む）は、火災発生建物への屋内進入を実施する救助隊員がより安全に消火活動等を行うために求められる機能を有するとともに、快適性、運動性等隊員の活動を容易にするための機能を有するものであること。

3 防火服の性能

「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン(改定版)について（通知）」（令和4年4月15日付消防消第113号）（以下、「新ガイドライン」という）に準拠するものとする。

4 防火帽の性能

労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定に基づく保護帽の規格（平成3年厚生労働省告示第39号）に適合するものとし、「新ガイドライン」に準拠するもので、EN443：2008欧州消防隊員用防火帽性能基準及びEN14458：2004欧州消防隊員用フェイスガード性能基準に適合しCEマーキングを取得し、仕様書に定める性能を満たすものであること。

5 しころの性能

「新ガイドライン」に準拠するものであること。

6 防火服の条件

使用する材料、付属品は全般にわたって十分に検査が施され、この仕様書の全てを満足し仕上がりが優良な製品であること。また、防火服は国内の工場にて縫製したものとし、破れ等が懸念される指定箇所に補強材料が取り付けられていること。表地の素材は、メタ型アラミド及びパラ型アラミドの織物とし、紫外線等による劣化を防ぐために、パラ型アラミドが表に出てこない二重織り構造とすること。

7 防火帽の条件

使用する材料、付属品は全般にわたって十分に検査が施され、仕様書の全てを満足し、仕上がりが優良な製品であること。

8 しころの条件

使用する材料、付属品は全般にわたって十分に検査が施され、仕様書の全てを満足し仕上がりが優良な製品であること。しころの材料及び性能は、当本部の仕様で定める防火服とのコンパティビリティを考慮した設計であること。インターフェースは防火帽との接合する隙間がなく、シールド面を下げた状態で顔面を隙間なく密閉できる構造であること。

9 防火服、防火帽品質保証

表生地、透湿防水層、遮熱層兼裏地の生地材料及び反射テープ、ファスナー、釦、縫製糸等の付属品について、納入日より 1 年間における品質に著しい不良が認められた場合、受注者負担で修繕をすること。ただし、使用方法、使用環境、保管方法、洗濯方法等に対し適切でない状況下での破損等についてはこの範囲に含まない。

第2 防火服 仕様

船山株式会社製 タフアタック防火服

1 外衣生地材料（表生地）

- ・織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないこと。

<生地規格 本体色>

素材混紡率	メタ系アラミド繊維 70%	JIS L 1030
	パラ系アラミド繊維 29%	
	導電性繊維 1%	
組織	変化織	JIS L 1096
染色、色相	原液着色 オレンジ・ダークネイビー	
質量	245g/㎡±5g	JIS L 1096
加工	撥水加工	
密度	たて121 よこ85 本/2.54cm	JIS L 1096
見掛番手・織度	たて 表 42/2	JIS L 1096
	たて 裏 29/2 + 47/2	
	よこ 表 43/2	
	よこ 裏 42/2	
引張強さ	たて 2500N以上	ISO 13934-1
	よこ 2000N以上	
引裂強さ	たて 400N以上	ISO 13937-2
	よこ 400N以上	
撥水度	初期 5級以上	ISO 4920
摩擦帯電電荷量	3μC/㎡以下	JIS L 1094

2 內衣生地材料（透湿防水生地）

- ・織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないこと。

<生地規格>

素材混紡率	メタ系アラミド繊維 50%	JIS L 1030
	難燃レーヨン 50%	
	PTFE メンブレン ラミネート加工	
組織	平織	JIS L 1096
色相	紺	
質量	148g/㎡±5g	JIS L 1096
密度	たて75 よこ54 本/2.54cm	JIS L 1096
見掛番手・織度	たて 45/1	JIS L 1096
	よこ 45/1	
透湿度	1040g/㎡/h以上	JIS L 1099 B-2法
耐水性	耐水度294kpa 以上	JIS L 1092:2009 B 法
人工血液バリア性	クラス 6	JIS T 8060-2007 D 法
ウイルスバリア性	クラス 6	JIS T 8061-2010 D 1法

3 內衣生地材料（遮熱層兼裏地）

- ・織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないこと。

<生地規格>

素材混紡率	メタ系アラミド繊維 70%	JIS L 1030
	パラ系アラミド繊維 29%	
	導電性繊維 1%	
組織	凹凸状ハニカム織	JIS L 1096
染色、色相	原液着色 濃紺	
質量	151g/㎡±5g	JIS L 1096
密度	たて75 よこ54 本/2.54cm	JIS L 1096
見掛番手・織度	たて 40/2	JIS L 1096
	よこ 40/2	
引張強さ	たて 900N以上	ISO 5081-1977
	よこ 700N以上	
引裂強さ	たて 90N以上	ISO 4674-1977 A2法
	よこ 100N以上	
ピリング	4級以上	JIS L 1076 A 法

4 その他の材料

反射テープ	反射素子露出型のST-05N、ユニチカスパークライト(株)社製 基布はポリアミドイミド繊維, 75mm巾を使用
面ファスナー	難燃性クイックロン F Aタイプを使用。25mm、38mm、50mm Y K K社製 F A A-25-853 (b) 米国航空管理規定準拠品
袖口ニット	ポリアミドイミド繊維 100%ニットリブ (ゴム入り)
袖口袋	アラミドアルミコーティング生地、アキレス社製
ファスナー	ロック機能付きエバーブライトスライダー、Y K K社製
ドット釦	7050 真鍮材、モリト社製
縫い糸	メタ系アラミド 100%40 番糸を使用
膝パッド	ケブラーフェルト DUFELT×2

5 構造

(1) 上衣

ア 襟

- (ア) 表生地2枚重ねに透湿防水生地1枚を入れ、襟高は後中央約95mmとする。
- (イ) 襟が立ち上がるよう芯地を縫い合わせる。
- (ウ) 呼吸器面体と襟の干渉を避けられ、衣服内に溜まった熱気が首から排出しやすいように広く設計された首周りの寸法であること。
- (エ) 前面保護のためチンストラップを縫い付け、開閉は長さ調整が出来る面ファスナーとする。
- (オ) 襟付け部分内側に、襟吊りを縫い付ける。

イ 前身頃

- (ア) 上前に前立を縫い付け、面ファスナーとフロントファスナーを併用した開閉とする。
- (イ) 上前(両方)にマイクフックを補強材で縫い付ける。
- (ウ) 上前にアンテナフックを補強材で縫い付け、指定箇所にドット釦を取り付ける。
- (エ) 別図のとおり反射テープをWステッチで縫い付ける。
- (オ) 肩当ての中に透湿防水素材フェルト1枚を入れ、外側に補強材(EPPA)を縫い付ける。
- (カ) ファスナーズライダーにタブを縫い付ける。

ウ ポケット

(ア) 左胸ポケット

- a デジタル無線専用の寸法で製作する。
- b フラップは1:1の2分割で、開閉用面ファスナーを縫い付ける。
- c マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、両側面のマチ上下2箇所面に面ファスナーを縫い付けた3方マチとする。
- d 袋内部にループを縫いつける。
- e ポケット下部に水抜き穴を取り付ける。

- f モールシステムによる着脱が可能な構造とする。
- g モールシステムは、上衣本体とポケットにベルトを補強材で縫い付け、双方のベルトを編み込み、ドット釦で固定できること。
- h 指定の反射テープ（S T-05N）を縫い付ける。

（イ）右胸ポケット

- a デジタル無線専用の寸法で製作する。
- b フラップは1：1の2分割で、開閉用面ファスナーを縫い付ける。
- c マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、両側面のマチ上下2箇所面に面ファスナーを縫い付けた3方マチとする。
- d 袋内部にループおよびペン差し袋を縫いつける。
- e ポケット下部に水抜き穴を取り付ける。
- f モールシステムによる着脱が可能な構造とする。
- g モールシステムは、上衣本体とポケットにベルトを補強材で縫い付け、双方のベルトを編み込み、ドット釦で固定できること。
- h 内ポケットを設け収納出来る構造とする。
- i 指定の反射テープ（S T-05N）を縫い付ける。

（ウ）左腰ポケット

- a 袋内側ヘループ、小型ポケットおよびナスカンを縫い付ける。
- b マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、側面のマチ上下2箇所面に面ファスナーを縫い付けた2方マチとする。
- c フラップは面ファスナー開閉式とし、フラップ先端に補強材によるタブを縫い付ける。
- d ポケット下部に水抜き穴を取り付ける。

（エ）右腰ポケット

- a 袋内側ヘループを縫い付ける。
- b マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、側面のマチ上下2箇所面に面ファスナーを縫い付けた2方マチとする。
- c フラップは面ファスナー開閉式とし、フラップ先端に補強材によるタブを縫い付ける。
- d フラップの外側に資機材携行用ループおよびD環を補強材で縫い付ける。
- e ポケット下部に水抜き穴を取り付ける。

エ 袖

- （ア） 8枚接ぎで腕の形状に沿った超立体構造とし、袖先は手背側が長く、掌側が短い構造とする。
- （イ） 手首のリブは適度な締め付けとし防火手袋を着装する際、防火手袋の裾を収納しやすい寸法とする。
- （ウ） 中衣と接続するためのドット釦付ベルトを縫い付け、さらに面ファスナーで固定できる構造とする。
- （エ） 袖口裏に補強材（EPRA）を縫い付ける。
- （オ） 別図のとおり、反射テープをWステッチで縫い付ける。

オ 後身頃

- (ア) 別図のとおり、反射テープをWステッチで縫い付ける。
- (イ) 裾は前屈みによる捲れを防ぐ形状とする。

カ 脇身頃

右脇身頃へ補助ポケット携行用ループを補強材で縫い付け、表生地裏側へ補強材を縫い合わせる。

キ ネーム加工

別図のとおり熱圧着反射シートをホットプレスで取り付ける。

ク その他

- (ア) 見返しに中衣接続用のファスナーを縫い付ける。
- (イ) 袖先に中衣接続用のドット釦付ベルトを縫い付ける。
- (ウ) 後身頃に中衣接続用の面ファスナーを縫い付ける。

(2) 下衣

ア 身頃

- (ア) 膝の屈折および活動性を重視した超立体裁断であり、前身頃の膝部分により多くの空気層が形成される構造とする。
- (イ) 膝頭に屈曲性を向上させるためにプリーツを入れること。
- (ウ) 膝は補強材と緩衝材（2枚）をかぎ型に裁断し縫い付ける。
- (エ) 前身頃にカラビナフックを補強材で縫いつけ、表生地裏側へ補強材を縫い合わせる。

イ ポケット

- (ア) 左右側面にフラップ付き2方マチポケットを縫い付ける。
- (イ) フラップは傾斜角約 10° の角度取り付け、面ファスナー開閉式とし、フラップ先端に補強材によるタブを縫い付ける。
- (ウ) ポケット取り付け位置は、真横中心より前方向へ約 20mmの位置とする。

ウ 腰帯

- (ア) 上前に前立を縫い付け、面ファスナーとフロントファスナーを併用した開閉とし、上隅にドット釦を取り付ける。
- (イ) アジャストベルトおよびアジャスターバックルを取り付ける。
- (ウ) アジャストベルト先端の余長を腰帯に固定できる面ファスナーを縫い付ける。
- (エ) 有効幅約 100mmの安全帯ベルトループを5箇所取り付け。
- (オ) 前身頃および両脇のベルトループ内側へ安全帯ズレ防止用面ファスナーを縫い付ける。
- (カ) アジャストベルト用ループを5箇所縫い付ける。
- (キ) 前身頃2箇所および後身頃2箇所へサスペンダー取り付け用ベルトを縫い付け、ドット釦と面ファスナーでサスペンダーを固定する。

エ 裾部

- (ア) 別図のとおり反射テープをWステッチで縫い付ける。
- (イ) 側面にファスナーを縫い付ける。

(ウ) 裾にW150mmの面ファスナー開閉式タブを縫い付ける。

(エ) 裾口に補強材を縫い付ける。

オ その他

(ア) 見返しに中衣接続用のファスナーを縫い付ける。

(イ) 裾先に中衣接続用のドット釦付ベルトを縫い付ける。

(ウ) 裾先に中衣接続用の面ファスナーを縫い付ける。

(3) 上下の中衣

ア 本体見返しにファスナーで接続できる構造とする。

イ 袖口に防水布を縫い付け、先端にニットリブを縫い付ける。

ウ 本体と接続するための上衣裾口および下衣裾口に本体接続用のドット釦付ベルトを縫い付け、さらに袖口は、面ファスナーで固定できる構造とし、面ファスナーおよび位置合わせのための赤いテープを縫い付ける。

エ 透湿防水層と遮熱層兼裏地を重ねて縫い合わせ、外周にアラミド製パイピングを縫い合わせる。

オ 透湿防水フィルム側の縫い目にシームテープ加工をする。

カ 上衣左右の脇下および背面中心に保冷剤入れポケットを縫い付け、面ファスナーでポケット間口を閉じる構造とする。

(4) サスペンダー

ア 耐久性のある平ゴム製を用いた伸縮性のあるベルトに、アジャスターバックルと本体接続用O環を縫い付ける。

イ 表生地にクッションを封入した肩パッドをベルトに縫い付ける。

(5) 補助ポケット

ア 500mlのペットボトル1本が収納できる形状とする。

イ フラップは開閉用面ファスナーを縫い付ける。

ウ マチは3方マチとする。

エ フラップをドット釦2箇所で開催し、上衣本体に接続できる構造とする。

(6) しころ

ア 材料は本仕様書で定める防火服材料と共通とする。

イ 指定する防火帽の形状に合わせ面ファスナーを取り付ける。

ウ シールドの形状に合わせ、顔面を保護できる前合わせ式とする。

(7) 氏名、所属等の表示、取り扱い注意表示を指定位置に取り付ける。

(8) 上衣・下衣寸法

	S	M	L	LL	3L	4L	5L		
適合身長	155	165	170	175	180	185	190		
着丈 前/後	62/70	68/76	70/78	72/80	74/82	77/85	80/88		
胸囲	118	128	132	136	140	146	152		
中胴	104	110	114	118	122	128	134		
裾囲	106	112	116	120	124	130	136		
肩幅	50	54	55	56	57	59	61		
袖丈 外/内	53/50	55/52	57/54	59/56	61/58	63/60	65/62		
裾丈(外)	78	82	84.5	87	89.5	92.5	95.5		
単位:cm 寸法許容差:±5% 袖丈特寸サイズ±4cm刻み調整									

			O	XO	XXO				
適合身長			170	175	180				
着丈 前/後			70/78	72/80	74/82				
胸囲			132	138	144				
中胴			124	130	136				
裾囲			126	132	138				
肩幅			55	57	59				
袖丈 外/内			57/54	59/56	61/58				
裾丈(外)			84.5	87.5	90.5				
単位:cm 寸法許容差:±5% 袖丈特寸サイズ±4cm刻み調整									

	S	M	L	LL	3L	4L	5L
腰囲(最大)	86	92	98	104	110	118	126
股下(長さ)	68	71	74	77	80	80	80
股上(前)	33	34	35	36	37	38	39
渡り幅	38	39.5	41	42.5	44	46	48
裾幅	24.5	25.5	26	26.5	27	28	29
単位:cm 寸法許容差:±5% 股下丈特寸サイズ±4cm刻み調整							

6 絵型

上衣正面、背面 下衣正面、背面 サスペンダー しころ ※別図参照

7 縫製

- (1) 各部の縫い合わせは縫い目の目とび、外れ等がないものであること。
- (2) 縫い代は各部分に適した充分なものでありオーバーロックが施してあること。
- (3) 強度を必要とする個所に罫止めミシンを入れる。
- (4) 地縫い飾り縫いの始めと終わりには必ず返し縫いを入れる。
- (5) 地縫い飾り縫いの縫い目ピッチは11針(3cm)を標準とする。

8 付属

保冷剤 KEEP COOL-4h 1 着に付き 3 個を付属する。

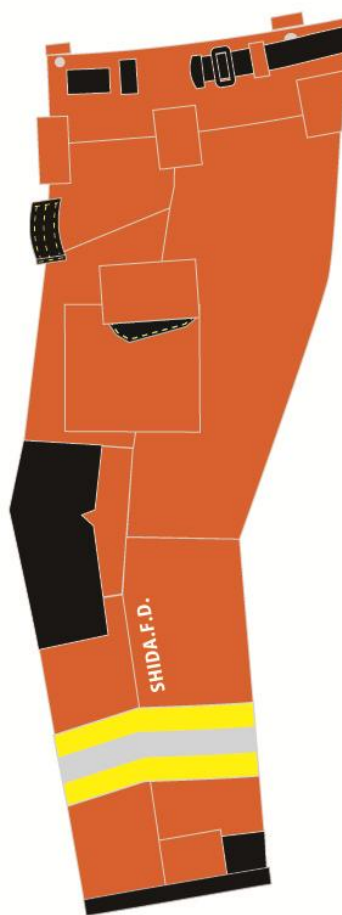
9 許容差

寸法の許容範囲は $\pm 5\%$ 以内とする。

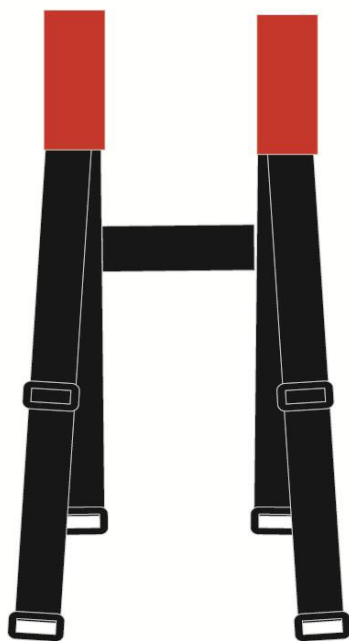
別図 上衣



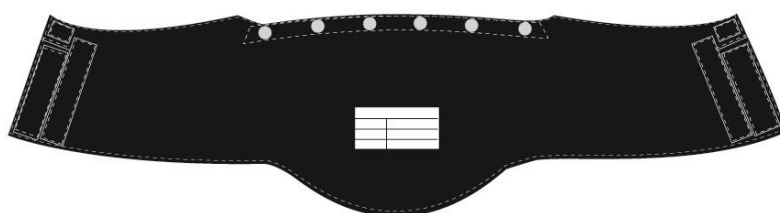
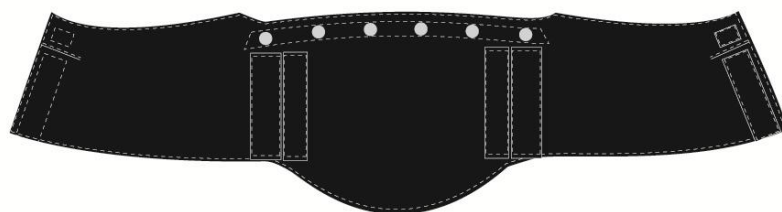
別図 下衣



別図 サスペンダー



別図 しころ



第3 防火帽 仕様

船山株式会社製 FKT-1402EN 防火帽

1 構造

(1) 概要

この防火帽は、帽体表面に指定の帽章を強固に貼付し、左右側面にネーム加工（ロゴ及び消防本部名）を施し、内側に難燃衝撃吸収ライナー、ヘッドバンド等の装着体及び大型立体成型シールドを内蔵し、帽体下隅の外周部にしころを取り付けることができ、左右にヘッドライトバンドを固定するパーツを取り付けること。また、ヘッドバンドは防火手袋装着時に締め・緩めの操作が容易にできるダイヤルラチェット方式とし、サイズ調整及び被り深さが調整できる構造とする。

防火帽使用材料は別表のとおりとし、詳細は（2）形状等のとおりとする。

(2) 形状等

ア 帽体

(ア) 本体

- a 別図の形状とすること。
- b 表面は滑らかで堅牢であること。
- c ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂（難燃性樹脂：UL94（V-Oクラス））による、軽量強化プラスチック製であること。
- d 外面は焼付塗装を施し、表面を耐候クリア塗装仕上げとすること。
- e 本体色はガンメタリックとする。

(イ) 周章

別図のとおり、帽体の左右側面に周章を貼付すること。2段とし上段は反射、下段は蓄光の機能を有する。

(ウ) 帽章

別図のとおり、帽体前面中央に特殊樹脂製の帽章を貼付する。

(エ) ネーム加工

別図のとおりカッティングステッカーで貼付した後、クリア塗装を施すこと。
なお、ヘッドライトを装着した際に、消防本部名がベルトに隠れない位置に表示すること。

(オ) 掛け金具

帽体後部中央に、半月環状の掛金具を取り付けること。

(カ) ヘッドライトベルト固定用クリップ

帽体の左右側面に、ヘッドライトベルトを固定できるベルトクリップを取り付けること。

イ 装着体

(ア) 内装一体型カバー

ヘッドバンドカバーにハンモックを取り付けた一体型とし、ヘッドバンドを帽体から外さずに面ファスナーで容易に着脱できる構造とする。

(イ) ヘッドバンド

- a ダイヤルラチェット方式とし、頭回りに応じて 52 c m～64 c mまでの範囲で着装時にも容易に調節が可能な構造とする。
- b ガイドシートに取り付ける留め具は、3 段階の被り深さを調整できる構造とする。

(ウ) ガイドシート

- a しころ取付用のドット釦を 6 箇所取り付ける。
- b ヘッドバンドを取り付ける位置を、前頭 2 段階及び後頭 3 段階の被り深さで調整できる構造とする。

(エ) 頭頂部衝撃吸収パッド

頭頂部にクッション性に優れたパッドを接着し、取り付ける。

ウ あご紐一式

- (ア) 着左側にワンタッチバックルが装備され、容易に開閉できるものとする。
- (イ) 着右側に W リングが装備され、先端のテープを引っ張ることで締め付け操作ができるものとする。また締め付けたあご紐はリリースタブで容易に開放できる構造とする。
- (ウ) あご紐一式は帽体にビスを用い固定する構造で、取り外しが可能であること。
- (エ) 着右側締め付け操作のあご紐はアジャスターリングにより、その箇所のみ取外しが可能な構造とする。
- (オ) 面体装着の際に、あご紐を開放した際の緩み長さを適切な寸法とする。
- (カ) ドット釦で取り外し可能な耳パッドを耳紐部分に取り付ける。また耳パッドを着装した際に耳パッドがめくれ上がることを防ぐ固定用面ファスナーを取り付け、内装カバーに接続できること。

エ シールド

- (ア) 前面からの注水や飛散物に対し顔面を保護できる構造で、視界の妨げとなるゆがみがない超鏡面仕上げの金型立体成形品とし、内外両面にハードコート処理及び防曇加工を施す。
- (イ) 帽体左右に接続するヒンジを支点に開閉できる構造で、固定するビスはロックナットを使用し、トルクドライバーによる締め付けにより緩みが出にくい構造とする。
- (ウ) 下側端面は防火手袋装着時に、容易にシールド開閉操作ができるよう前方にせり出した形状とする。

オ ライナー

変性 P P E 成形品（難燃グレード：U L 94（V-O クラス））を用いた衝撃吸収ライナーを帽体に接着させ取り付ける。

カ その他

(ア) 寸法

L 315mm、W253mm、H210mm

(イ) 質量

1150 g (許容誤差±5%)

別表

防火帽使用材料

区分	構成部品	数量	材料
帽体	F O 2 型	1	F R P
	リベット	2	アルミ
	D環	1	黄銅N i メッキ
ガイドシート	フロント	1	ポリカーボネート
	バック	1	ポリカーボネート
ライナー	衝撃吸収材	1	変性P P E 成形品
シールド	F O 2 型	1	ポリカーボネート
ヒンジ	サイドパーツ	2	ナイロン
あご紐	ベルト	1	アラミド繊維 1 0 0 %
	ワンタッチバックル	1	P O M
	耳パッド	2	アラミド繊維 1 0 0 %
	アジャスターリング	1	ナイロン
	丸環	2	S U S
ヘッドバンド	F O 2 型	1	ナイロン
ラチェット	F O 2 - C 型	1	ポリカーボネート
内装カバー	天井ネット	1	アラミド繊維 1 0 0 %
	ヘッドバンド周囲	1	アラミド繊維 1 0 0 %
	クッション材	3	ウレタン
天井クッション	衝撃吸収材	1	ウレタン

別図

GUNMETTARIC



第4 補則

- 1 特注仕様(ポケット追加等)、特注サイズ、改良の為の変更、その他(階級、所属等の表示)については、あらかじめ協議を行い指示を受けた通りとすること。
- 2 納入時の梱包、包装等については、当本部と協議を行い、指示を受けた通りとすること。
- 3 原則として、仕様書に記載されていない事項については、見本品と同じとすること。
- 4 納入後であっても、生地、縫製に不具合箇所があった場合、受注者負担による修理又は交換をすること。
- 5 仕様書の定めのない事項については協議を行い、指示を受けるものとすること。

(3) 防火長靴 仕様明細書

志太広域事務組合志太消防本部

第1 防火長靴 総則

1 目的

この仕様明細書（以下、仕様書という）は、志太広域事務組合志太消防本部が購入する消防隊員用個人防火装備（防火長靴）について必要な事項を定める。

2 概要

この防火長靴は、火災発生建物への屋内進入を実施する消防隊員がより安全に消火活動を行うために求められる機能を有するとともに、快適性、運動性等隊員の活動を容易にするための機能を有するものであること。

3 防火長靴の性能

（１）消防消第113号「令和４年４月15日 消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン（改訂版）」について（通知）」について準拠する製品であること。

（２）日本工業規格（以下「JIS」という。）T8103（静電気帯電防止靴）
環境区分C2に定める帯電防止性能を満たすものであること。C2のJIS認証を受けていること。

4 防火長靴の条件

使用する材料、付属品は、全般にわたって十分に検査が施され、仕様書の全てを満足し、仕上がりが優良な製品であること。

5 防火長靴の品質保証

防火長靴本体及び縫製糸等の付属品について納入日より１年間における品質に著しい不良が認められた場合、受注者負担で修繕をすること。ただし、使用方法、使用環境、保管方法、洗浄方法等に対し適切でない状況下での破損等については、この範囲に含まない。

第2 防火長靴 仕様

1 船山株式会社 FDM-1904

2 構造及び材料

材料の規格等は別表１のとおりであること。

（１）形状及び寸法

ア 形状及び寸法は、別表２のとおりであること。

イ 本仕様書において「約」の表記は、原則として±５％の範囲内とする

（２）質量

完成質量は、２．６ｋｇ／足以下であること（サイズ２６．０ｃｍで実施した場合）

（３）構造

ア 長靴は、裏付きで、爪先を保護する樹脂先しん入れ、別図１に示す部分に突刺し防止布を設け、靴底に踏抜き防止板を入れたものであること。

イ 別図２に示す部分に踏抜き防止布を設けてあること。

ウ 踏抜き防止板は鋼鉄板を使用し、両面を防錆処理してあること。

エ 突刺し防止布及び踏抜き防止布は、踏抜き防止板に最下部を重ねて取り付けてあること。

オ 人体に帯電する静電気が表底から漏えいする構造を持つこと。

カ 爪先の甲部分の上部に補強用の先ゴムを貼りつけてあること。

- キ 先ゴムの表面は、ローレットをかけたものであり、ライムイエロー色とする。
- ク 先しん内側から後端部内側にかけては、布、緩衝性のあるゴム等で内張りしてあること。また、後端部の内外は、補強が施してあること。
- ケ 胴ゴム外側横に切込み（水除け付き）を入れ、ファスナーにより迅速な着装ができる構造であること。
- なお、ファスナーのスライダーの引手は上下左右に動きやすい構造のものとし、引手紐が取り付けられていること。
- コ 胴ゴム前側に切込み（水除け付き）を入れ、靴紐により甲部分、脛部分及び足首部分を締めつけられる構造であること。
- サ 表底は、プレス加工したもので次の条件を満たすものとし、別図3とする。
- （ア）踏込み時並びに階段及びはしごの昇降時に表底にある山が、変形を起こしにくいものであること。
- （イ）前後方向及び横方向にすべりにくいものであること。
- （ウ）静電気防止・耐油機能を用いた配合であること。
- （エ）踏まず部には、1. 5mm以上の横方向の意匠を有すること。
- シ 長靴のかかと部内側寄りに突起を取り付けて、脱ぎやすい構造とすること。
- ス 色は、全体を黒色とし、先ゴム、履口ゴムはライムイエローとしてあること。
- セ 背部に先ゴム部分等と同色ライムイエローの反射テープを取り付けてあること。
- ソ 表底に、サイズ及び製造業者名（略号可）を表示してあること。
- タ 長靴の外側上部にJIS規格適合（静電気帯電防止性能等）を示した内容を表示してあること。
- チ 長靴の中底には、長靴の静電気帯電防止機能を損なわないクッション性に優れた材質の中敷きを設置すること。

別表 1

長靴 材料、材料の規格等一覧

部品名	材 料	規 格 等
表底	配合ゴム	・ 表底形状については、別図 3 参照
甲被	配合ゴム	・ ISO 20344:2011, 6. 1 に従い甲被の厚さ：1. 5mm 以上（裏布含む）
裏布	ポリエステル	・ J I S L 1096：2010 の試験 摩耗輪：C S-10 荷重：2. 45 N 摩耗回数：500 回により、摩耗重量が 10mm g 以下であること。 ・ 色相：グレー色、無地
履き口ゴム	配合ゴム	・ 色相：ライムイエロー（反射テープと同色）
先ゴム	配合ゴム	・ 色相：ライムイエロー（反射テープと同色）
先しん	樹脂	ISO20344:2011, 5. 6. 1 の試験により以下の条件を満たすこと。 ・ 腐食領域が 3 箇所未満であること ・ いずれの腐食箇所も直径 2mm を超えないこと
先しん補強布	ナイロン又は同等の強度を有するもの	・ 厚さ：0. 5mm 以上
踏抜き防止板	鋼鉄製又は同等の強度を有するもの	ISO20344:2011, 5. 6. 3 の試験により以下の条件を満たすこと。 ・ 腐食領域が 5 箇所未満であること ・ いずれの腐食箇所も 2. 5mm ² を超えないこと
突刺し防止布	パラ型アラミドのフェルト	・ 厚さ：約 1. 5mm 以上 ・ 質量：約 380g/m ² 以上 ・ 別図 1 に示す範囲を有すること
踏抜き防止布	パラ型アラミド又は同等の強度を有するもの	・ 別図 2 に示す範囲を有すること
靴ひも	黒色ナイロン 袋編み	・ 長さ：1, 600±30mm ・ 直径：約 3. 5mm ・ 両端末は熱焼付処理（両端セルチップ付き）を施したもの
ファスナー	合成樹脂製 コイルファスナー	・ ファスナーの種類は重量級（チェーン幅約 10mm）、ファスナーのロック機能はオートマチック式であること。 ・ 引手装着強度：250 N 以上 ・ 横方向への引張強度：500 N 以上

引手ひも	① ポリエステル製 平織ひも	・色相：ライムイエロー ・幅：約8mm ・有効長さ：160mm～190mm ・両端末は焼き付け処理し、金属（ステンレス）かしめを施したもの ・引手ひもの取付は、ファスナーの引手に引手ひもの中央へ1回ループを作って取り付けてあること。
引手ひも （交換用）	② ナイロン製 袋編みひも	・色相：ライムイエロー ・直径：約3.5mm ・有効長さ：50mm～60mm ・ループ状にし、ナイロン等の樹脂製の留め具を設置すること。 ・1組（2本）を透明の小袋に納め納入時の梱包に含める。
はとめ	アルミニウム製	・サイズ：＃18・色相：黒色
反射テープ	露出ビーズ型	色相：ライムイエロー （履き口ゴム、先ゴムと同色）

別表 2

長靴サイズ別各部寸法一覧

1 後丈の寸法（単位：cm、寸法許容差±0.5cm）

部分 サイズ	後 丈	部分 サイズ	後 丈	部分 サイズ	後 丈
22.0	32.0	25.0	33.0	28.0	34.0
22.5		25.5		28.5	
23.0		26.0	34.0	29.0	
23.5		26.5		29.5	35.0
24.0	33.0	27.0		30.0	
24.5		27.5		31.0	36.0

2 足首等の寸法（単位：mm、寸法許容差±5mm、長靴サイズ26.0cmで実施）

足 首	ふ く ら は ぎ	履 き 口
290	340	360

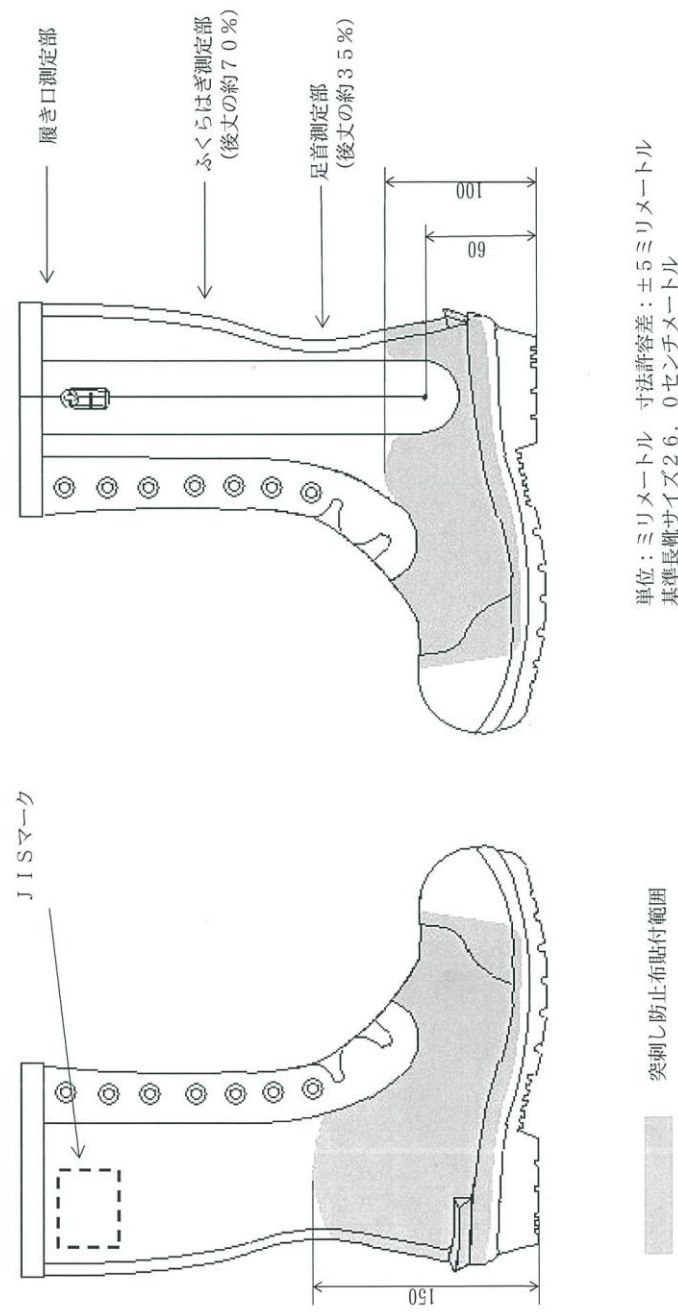
3 表底の形状

部 位	仕様条件	参 照
厚 さ	d1：3mm以上 d2：4mm以上 d3：6mm以上	ISO 20344:2011, 8.12
踏み付け部の溝高さ	3mm以上	ISO 20344:2011, 8.1
踏まず部の溝高さ	1.5mm以上	ISO 11999-6, 6.6.3
かかと部	・ 踏み付け意匠後端－ヒール設置面先端：35mm以上 ・ ヒール高さ：10mm以上 ・ ヒール前部の角度： $90^{\circ} \leq \alpha \leq 120^{\circ}$	ISO 11999-6, 6.6.4

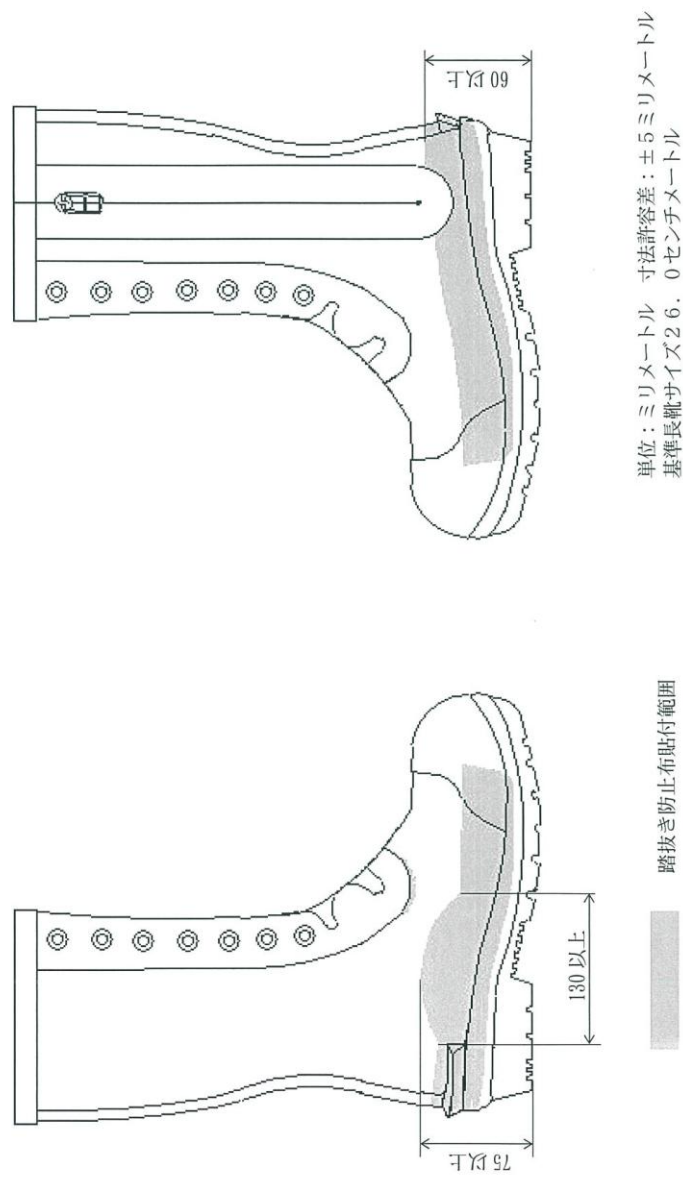
4 先しん寸法

測 定 部 位	サイズ (cm)	寸 法 (mm)	参照
先しんの内部長さ	22.0以下	34以上	ISO 20344:2011, 5.3
	22.5～23.5	36以上	
	24.0～25.0	38以上	
	25.5～26.5	39以上	
	27.0～28.5	40以上	
	29.0以上	42以上	
下辺折り曲げ部内部の幅	-	10以下	

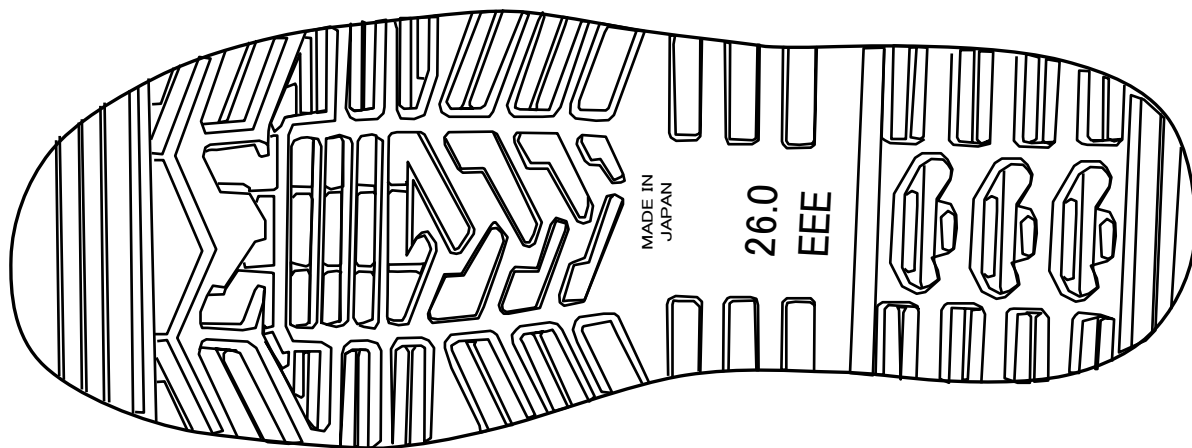
別図 1



別図 2



別図 3



入札書

- 1 入札番号 第41号
- 2 件 名 令和8年度 消防隊・救助隊防火衣一式及び防火長靴 購入
- 3 履行場所 藤枝市稲川200-1
志太消防本部 藤枝消防署

上記の件について、志太広域事務組合競争契約入札心得を承諾の上、下記の金額で請負いたいのので、申し込みます。

入札金額

拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税抜)

令和 年 月 日

発注者 志太広域事務組合
管理者 焼津市長 中野 弘道 様

住 所

入札者 商 号

氏 名

印

- 1 入札書は、入札1件ごと1枚用意してください。
2 入札書には、入札番号、件名、入札金額、入札日、入札者の住所・商号・代表者の職氏名を必ず明記し、社印・代表者印を押印してください。

記載例

入 札 書

1 入札番号 第 〇〇 号

2 件 名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

3 履行場所 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

入札金額は消費税額を除いた
金額を記入。
「¥」マークも記入する。

上記の件について、志太広域事務組合競争入札心得を承諾の上、下記の金額
で請負いたいのので、申し込みます。

入札金額

拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	1	2	3	0	0	0

(消費税抜)

入札(開札)日を記入する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

発注者 志太広域事務組合
管理者 焼津市長 中野 弘道 様

会社名・代表者の職名及び
氏名は必ず明記し、社印・代
表者印をする。

住 所 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
入札者 商 号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
氏 名 〇〇 〇〇〇〇〇〇 印

郵便入札での注意事項

一般書留、簡易書留又は持参のみ有効です。
普通郵便やレターパック等での提出は無効となります。

入札書及び内訳書（必要な場合のみ）を入れる内封筒と、内封筒を入れる外封筒の二重封筒にしてください。

※窓口を持参する場合、外封筒は不要です。

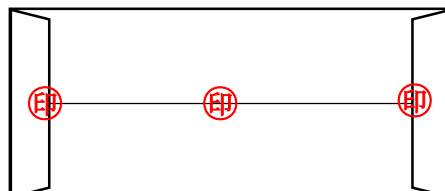
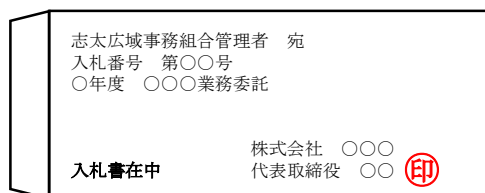
（令和7年5月1日～）

<内封筒記載例>

宛先、入札番号、件名、「入札書在中」、商号（又は名称）、並びに代表者の職名及び氏名を記入し、代表者印を押す。

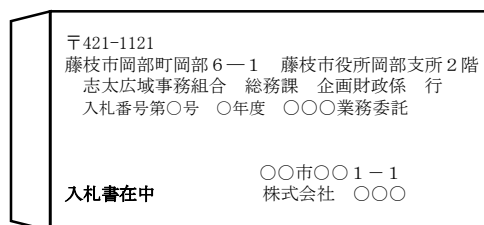
同じ印で、封筒のつなぎ目に封印をする。

※いずれかの印がない場合、無効となる場合があります。



<外封筒記載例>

宛先、入札番号、件名、「入札書在中」、住所、商号（又は名称）を記入する。



その他の規定については、「郵便入札に関する要領」や「競争契約入札心得」等（下記①のページのうち、「関連法規など」）をご覧ください。

志太広域事務組合ホームページ>組合の概要>入札・契約>入札情報 …①

<https://www.shida.or.jp/about/tender/115.html>

郵便入札に関する要領 …②

<https://www.shida.or.jp/material/files/group/2/yubinnyusatsuyoryoR070501.pdf>

①



②

